

観察記録に基づく観察授業の分析

◆活動名

「しんぶんしでつくろう」

幼稚園・5歳児

幼児の活動

1「かんがえタイム」

○新聞紙が様々に使えることに気付き、作りたいものを考える。

○考えたことの中から自分で作りたいものを1つに決める。

2「へんしんタイム」

○新聞紙の形を自由に変えながら、自分なりの自由な発想を生かして作る。

○身近な素材を使いながら、自分の作りたいものを形にしていく。

○できたものに別の素材を組み合わせ工夫する。

3「はっぴょうタイム」

○自分の作ったものを発表し、相手にわかるように説明する。

◆ねらい

新聞紙を使って自分の思ったことを形にしていって楽しさを味わう。

創造性育成の構成要素にかかわる授業分析

●新聞紙（自由に変化させることができる教材）を使用し自由自在に扱えるようにする。

直観（流暢・柔軟・独自）

●幼児とともに活動し、アイデアのヒントを与えていく。

直観 想像（流暢・柔軟・独自）

●新聞紙を頭にかぶる、体に巻くなど教師がモデルを示し手がかりを与える。

直観（流暢・柔軟・独自）

●自然にグループができるように大きめの机を用意し、テープやリボン等の材料をさりげなく準備しておく。

想像（流暢・柔軟・独自）

●魚を作っている幼児に対して海をイメージし活動を広げることができるように、大きめの青いビニール袋を準備しておく。

想像（流暢・柔軟・独自）

●作品を見せ合うことで、自分の作品に愛着をもたせたり、友達の作ったものに関心をもたせたりする。

思考（独自・具体）

考察

・構成要素ごとに高まる因子があることが分かった。

（直観＝流暢性・柔軟性・独自性 想像＝流暢性・柔軟性・独自性 思考＝独自性・具体性）

・幼児の活動から友達の発言や活動をヒントに自分なりのアイデアが出せるようになる。

◆単元名

「工業によって変わる暮らし」

社会・小学校・第5学年

学習活動

<導入>

1「地名当てクイズ」

○湖、島、川等の地名を地図で調べて発表する。

2「新幹線からみた景色」

○3枚の写真から工業のさかんな地域の特徴について考える。

3「中小工場と大工場の違いや中小工場の抱える問題について考える」

○工場内の様子の写真数枚から工業製品の生産について考える。

<展開>

4「工業の発達によって、人々の暮らしがどのように変わってきたかを調べる」

○昔使われていた物がどのように変化してきたかを考える。

○ノートにまとめ、意見を発表する。

◆ねらい：工業の発達と自分たちの暮らしの変化とつながりに気づき、これからの工業生産の進め方について考えをもつことができるようにする。

創造性育成の構成要素にかかわる授業分析

●地図で地名を探す地名当てクイズを行い、授業への興味・関心を高める。

直観（流暢・柔軟・独自）

●教師の体験談から、児童に思いついたことを自由に発表させる。

直観（流暢・柔軟・独自）

●新幹線の車内から見た3枚の写真の提示により、児童の思いつきやつぶやきを拾いながら、中小工場の話へと結びつけていく。

想像（流暢・柔軟・独自）

●中小工場と大工場を比較し、各々にどんな特徴があるのか具体化し、児童からの疑問を引き出すために拡大写真を提示する。

直観（流暢・柔軟・独自）

●現代使用されている物と昔使用されていた物を比較するため具体物を用意する。（洗濯板・番傘・わらじ・おひつ）

直観 想像（流暢・柔軟・独自）

●自分の考えをノートにまとめ、人に分かるように意見を発表する。

思考（独自・具体）

考察

・評価因子が多く現れている場面は、教員がヒントとなる写真や資料などを比較し児童から考えを引き出す機会を作っている。

・2つの写真の比較により事象を具体化することで疑問や矛盾に気づき多くの意見が出せるようになる。